土地を識る人として



土地を誰る人= [地職人]

現代では、土地家提高者上がその名にぴったりですが、 そのルーツを200年遅れば、伊着宗教に出会います。 この対談は、もしお観光後にご登得権もわば――上の

| 緯度1度の正確な 距離を測りたかった。

会員 ほじめまして、恋報先生が影布 接ったが異じの様に出さけられた 200年日をもかけに、1999年から25年間かけて、私会1土地産団 調査士」は全合性がそんだらの 様式で、恋歌を生たがに関生をき ました。実際に先生の中へれた選 をかいてみて、個面を考慮できた のですが、温節の特定した様式で となぜかって、200年後と出版で とませない。200年後に出版で も大変なのに、200年後はかぎかし 共労が事かったと思います。ところ で、先生が報告地の資質を出立さ

要数 当時、ロシアが日本に開送を辿り、貯布に空を延せるなど 日曜、マア・カイターの経営できた。大学とは販売のご様な計 日曜・春度ラッカのですが、とじた定方は不明で、療えが 島であるのか、大利なのか分からないという状態でした。 北近智能や近げ物鏡のののに地間が値しかったのじゃ

AMIZ 新するMIZI MICO AMIZ を取る かっぱいたいたか 会表 元、おわれるためを定る紹介から対抗的 新の用され 意志もなるかったのですか? 事務 やうてす。全国の制度を定成させても、日本はすっと場 の単来でしたから、ました。では、日本全国もか からかったからではなく、別に同かがあったかです」。と同 いますのは、性好、日本では確常1度の回避な時間が実 利止の存在だけで、それも実際した人はいるかったのです



| 開居して始めた | 天文学にのめり込んで…。

会長 しかし、先生は17歳でか田家 あのし、光生は17年でかせた の妻子になって、細されですいた あぬ年を存譲させ、19年で刊刻 されらまで、天主学を学れておめ れ立かったのですれ、5のまで[1 昨日出て、直通を明さんに算事 して初めて完支学に施れられた そうですが、どうして天文学(力 時は期間で)を学ばらと注意されたのでしょうか?

事数 ホックの人は短折になれば、含まその人がの過ごする のでしょうが、私は有所を終えている政策の学習に禁 かれまして、見類学を学び始めたのです。まる、好きられ 係を変人だったのできょ、そして、学問を紹介でいると、そ わを実施では、てみたなってをおして、それがあった業 の「確和1所の所様」とよっかったのですね。「可ごに達 も勝ったことのないものがあったから「く知っているかっ。 会養 経度1度の課様と供付款道、都書願見とは、どついり得

MICAGO CTAT



虚職 装度 (後の主婦な影響を含くためには、形束品が1向 北に長い広報が必要です。(Lアメルの資金をで、加速して 1 1歳,その途中で大清をしながら解析1項の再移を選集し ていけば、からり直接な影響が振りあせると考えたのです。

距離、角度、勾配を測りながら、 1日10里を歩く。

- 方呼の無限は、すべて人力で行いましたね、まず基本 になるのは影響を弾を、最が他かっていたは、そのたがに 角質を調整し、報道があれば、その角度な影響して平地 な影響に掛響する。など並育もない可力が必要だったの ですね。
- ですね。 動物 カメールによりです。深にはボーでいるがけてはADA が人、原があるた。次知的様は「大心のからって、傾斜のみ 必然度では、別数から程を回り、他に入ると同意の三分 開起に関するを表定によって者を影響に関係しならす のです。これらいかいろな需要の記録を手楽につけ、 縮かして知想がはに関えます。この作業が成れるとすで にかについています。他でいまに、他の機能を行っます。 北海がかの間を場場では、実のは、何ないのの様性を かり向ますた他の責任にするためです。これが毎日の仕事 です。 のようなの責任とこれられたのですね。そうするとな かなかるよるよるよくなる。
- かない高み並せ入れ
- は13億10年でから
- 金長 10年にいつと10km。料理 (km)ですいても10時間かか Garsですから、開業者にながら3月10里季くといつのは 決定な3ビードだったのですね。





伊能図完成200年記念事業

「伊能図完成200年記念の集い」開催

伊能図完成200年記念事業推進協議会 副会長・事務局長 堀野

1 はじめに

今年、令和3 (2021)年は、伊能図(大日本沿海輿 地全図)が文政4年7月10日(西暦1821年8月7日)、 幕府に上呈されてから、丁度200年目にあたります。

そのことを記念し、伊能忠敬の業績を顕彰するた め、伊能図完成200年記念事業推進協議会(以下「推 進協議会」という。)を組織し、各種の記念事業を計 画、関連行事を推進してまいりました。

行事の主催は、地図や測量の関係8団体(*)で構 成された推進協議会で、日本土地家屋調査士会連合 会様にも、その趣旨に賛同いただき、構成団体とし て参加いただきました。この他、共催団体として富 岡八幡宮、(公財)江東区文化コミュニティ財団、令 和の伊能大図をつくる会が参加し、国土地理院、江 東区、香取市に後援を頂きました。

行事の内容を以下に紹介します。

伊能図完成200年記念の集い

「大日本沿海県地区県」は、江戸時代政府の開意状序能と歌か中心となって真好12年(1800年) から足掛け17年にわたる測量により作製された日本全土の地図です。 一般には「伊能図」と称され、大図(3万6千分の)214枚、中図(21万6千分の)8枚、小図 (43万2千分の)3枚で構成され、大図4年(1821年)に完成し、幕府に上量されました。 伊能図は江戸時代に作製された地図ですが、明治維新後も近代測量による地図が整備されるま で、国家の地図の作成に伊能図が利用されました。 令和3年(2021年)は、伊能図の完成から2007年目にあたることから、伊能忠敬の業績を顕彰す るとともに、これから先も日本の近代化を支えた各地に残る伊能図を未来く守り伝えるため、伊 能忠敬が測量の起点にした江東区において、「伊能図完成200年の集い」を開催します。

日 時 2021年4月16日(金)~4月18日(日) 会場 江東区文化センター 最新:東京メトロ東西線「東陽町駅」

伊能図完成200年記念式典 於:レクホール (3階) 日 時 2021年4月17日(土) 14:00~15:00 参加費 4,500円(落語会参加費を含む)※関係団体により実施

記念落語会 (一般参加:定員350人) 於:ホール

玄川志の輔「伊能忠敬物語 -大河への道-」

4,000円 チケット発光日時: 2021年2月10日(水) 午前10時以降 *購入窓口: 江東区文化センター TEL 03-3644-8111 インターネット予約 https://www.kcf.or.jp/yoyaku/ticket/

記念講演会(一般参加) 於:ホール

「伊能忠敬測量の日本地図を読む-200年前の日本の姿-」

伊能図フェスティバル (一般参加) 於: 展示室、展示&談話ロビー、中庭

日 時 2021年4月16日 (金) ~4月18日 (日) 10:00~17:00 伊能図と伊能忠敬の測量機器の展示、伊能忠敬の測量体験、地図のミウラ折りに挑戦 ※ 入場無料 3D 測量成果による「パーチャル富岡八幡宮」への参拝体験

主 催:伊能図完成 200 年記念事業推進協議会 構成機に 日本土地窓際原主力部合会 公益財団協入日本制展演友技術協会 一般財団協入日本地原センター 公益社団協入日本 日本毎属協会 - 最社団加入公園施設計事協会会会 - 最社団加入地図開発技術協会 一般社団加入日本ウオーキング

、 公益財団法人江東区文化コミュニティ財団 令和の伊能大図をつくる会

後 援:国土交通省国土地理院 江東区 香取市

伊能図完成200年記念の集いパンフレット

2 伊能銅像建立20周年記念式典

令和2 (2020)年10月17日(土)に富岡八幡宮本殿 で、銅像建立20年の報告と伊能忠敬翁の顕彰参拝、 続いて記念式典が、銅像前で関係団体により執り行 われました。星埜推進協議会会長及び丸山八幡宮宮 司の主催者挨拶に引き続き伊能家七代目・伊能洋様 並びに銅像製作者・酒井道久様のご祝辞をいただき ました。式典後には、タイムカプセル封入品の全容 が、関係者にお披露目されました。

記念式典参加者は、関係者を中心に35名余でした。

3 伊能図完成200年記念の集い

伊能図完成200年記念の集いは、令和3(2021)年 4月16日(金)~4月18日(日)の3日間にわたり、 伊能忠敬の全国測量の拠点となった隠宅が東京都江 東区内にあったことに因んで、江東区文化センター を会場に開催されました。

1) 伊能図完成 200 年記念式典

記念の集い2日目の4月17日(土)の午後2時から 「伊能図完成200年記念式典」が建物3階のレクホー ルで行われ、来賓、関係団体の代表等80名ほどが 参加しました。日本土地家屋調査士会連合会からは、



「伊能図完成200年記念式典」の主催者挨拶の模様

國吉会長ほか4名に参加いただきました。

式典は、主催者を代表して星埜推進協議会会長の 挨拶に引き続き、野田勝国土地理院長、山崎孝明江 東区長、宇井成一香取市長、丸山聡一富岡八幡宮宮 司の来賓4名から祝辞が述べられました。

最後に、式のアトラクションとして、地元木場の木遺保存会「木響会」による木遺りが披露されました。また、参加者には記念の品として、令和の伊能大図「江戸」と「富士山」の2図が贈られました。

2) 記念落語会

「伊能図完成200年記念落語会」は、4月17日(土) 午後5時からホールで開かれました。

落語会は、立川志の輔の独演会で、演題は「伊能忠敬物語ー大河への道ー」です。志の輔師匠自身が伊能図に出会ったところから、自身の体験をもとに、伊能忠敬の大河ドラマ制作に苦悩するドラマ作家を描いた1時間40分に及ぶ長編の創作落語です。この噺をもとに映画化も進められているそうです。お噺では、ドラマの脚本を依頼された作家が伊能図上呈の場面を見事に描いたが、伊能忠敬のドラマにはならなかったという「落ち」が待っていました。会場



落語会のチラシ

の聴衆は、気が付けば志の輔落語に引き込まれていました。

会場には500名余りの席がありますが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、前後左右の席を空け、入場者数は、定員の半数の250人に制限されました。入場時には、検温と消毒をして、チケットも半券を自らちぎって箱に入れ、会場内でのマスク着用など、感染防止対策が徹底されました。



記念落語会の会場

3) 記念講演会

行事3日目の4月18日(日)午後1時30分から前日の落語会と同じホールで、星埜由尚氏による記念講演会が開催されました。会場の新型コロナウイルス感染防止対策は、前日の記念落語会と同様の措置が講じられ、参加者数も250人以下に制限されました。

講演の演題は「伊能忠敬測量の日本地図を読むー200年前の日本の姿ー」で、伊能図から読み取れる200年前の日本の国土について、分かり易く紹介しました。

4) 伊能図フェスティバル

(1) 伊能図と伊能忠敬の測量器具の展示

伊能図は、アメリカ議会図書館の大図のうち、関東地方の25枚、国土地理院が保有する1/6000の江戸実測図南北2枚、伊能小図の複製図3枚などのほか、新たにコンピュータで再描画した「令和の伊能大図」4枚(江戸、横浜、小田原、富士山)などです。このうち、関東地方の大図と江戸実測図は、談話

室ロビーの床に敷き詰められました。特に、江戸実

測図は、地元の深川が詳細に確認できることから、 見学者は地図の上に立って、200年前の地元の風景 を思い描いているようでした。

展示ロビーでは、伊能忠敬の測量で使用された器 具のレプリカが展示されており、見学者は説明パネルを読みながら伊能忠敬の測量方法を確認していま した。なお、展示ロビーと談話室ロビーの入場者数 は、3日間で700人余となりました。



江戸実測図をのぞき込む参加者

(2) ワークショップ (伊能忠敬の測量体験)

伊能忠敬の測量は、2点間の磁針(彎窠羅針)による方位と距離の測定(間縄、歩測)を繰り返す導線法で行われました。

この体験コーナーでは、彎窠羅針の代わりにオリエンテーリング競技に使われるシルバコンパスを使い、距離は歩測を使いました。この方式は競技性もあり、親子連れや、家族で参加する人の姿が、目につきました。3日間の参加者は130人余りでした。



伊能忠敬の測量体験 シルバコンパスで方位角の測り方の説明を受ける参加者

(3) ワークショップ(地図のミウラ折りに挑戦)

「ミウラ折り」は、人工衛星の太陽電池パネルや大型の宇宙アンテナなどに携わった三浦公亮氏の発案による紙の折り方で、折り畳んだ紙を一瞬で開き、一瞬で元に戻せるという特徴を持つ「地図の折り方」の一つです。

使用した地図は、江東区の地理院地図とそこに表示されている自然災害伝承碑を表裏に印刷し、裏面に折線を入れた用紙が用意され、だれもが容易に折れる工夫がされていました。会場は、ホール近くの展示室で、3日間の参加者は120人ほどでした。

(4) 3D測量による「バーチャル八幡宮」への参拝体験

富岡八幡宮境内の3D点群データによる立体モデルが作成され、参加者は専用のゴーグルを装着することで境内の立体的な景色の中を自由に移動してバーチャルの参拝を体験していました。会場はミウラ折りと同じ展示室で、3日間の参加者は110名ほどでした。

4 おわりに

本事業は、1年ほど前に推進協議会を立ち上げ、 4回の委員会と5回の幹事会で議論を重ね、漸く実現したものです。折しも新型コロナウイルス感染拡大の問題が重なり、実現も危ぶまれましたが、3回目の緊急事態宣言が発出される直前に開催できたことは幸いでした。

ご協力をいただいた、日本土地家屋調査士会連合会様をはじめ関係機関、団体等に対し謝意を表すとともに、準備から運営に携われた幹事の方々に改めて敬意を表します。

(*)「伊能図完成200年記念事業推進協議会」主催構成団体(順不同)

日本土地家屋調査士会連合会、公益財団法人日本測量調査技術協会、一般財団法人日本地図センター、公益社団法人日本測量協会、一般社団法人全国測量設計業協会連合会、一般社団法人地図調製技術協会、一般社団法人日本ウオーキング協会、伊能忠敬研究会